

和気町教育委員会

【開催年月日】 令和2年5月29日（金）

【召集の場所】 佐伯庁舎 町民室

午前10時開会

【出席者】 教育長 徳永 昭伸
委 員 有正 省三
委 員 齊木 孝
委 員 安藤 知春
委 員 國友 道一

【事務局出席者】 万代教育次長・国定学校教育課長・菅崎社会教育課長

【付議した議案】

報告第 1号 和気町教育委員会教育長職務代理者の指名について
議案第 8号 平成31年度（令和元年度）教育行政報告の承認について
承認第 6号 令和2年度教育要覧の承認について

【その他】

- ・議会臨時会の報告について
- ・令和2年度市町村教育委員会連絡協議会総会について
- ・新型コロナウイルス感染症対策について
- ・その他

審議の記録（一部要約）

開会時刻 午前10時開会

万代教育次長 5月21日の議会臨時会において、本年5月25日をもって任期満了した有正省三委員が再任となったことを報告した。
徳永教育長の挨拶後、有正委員から再任の挨拶をいただいた。

徳永教育長 議事録署名委員に安藤委員と國友委員を指名した。
4月24日以降の教育長諸般報告を行った。報告について質問を求めた。

安藤委員 公営塾について、現在は新型コロナウイルス感染症対策のためオンラインでの対応をしているが、今後も続ける予定はないのか。地域によっては通うことが難しい子どもも居るので、状況が落ち着いた後もオンライン対応の継続を検討していただきたい。

徳永教育長 続けていくことを前向きに検討している。今後は直接指導のみならずオンラインも積極的に取り入れ、今まで以上に子どもたちそれぞれに合った学習支援をしていけるよう、社会教育課と共に思案中である。

菅崎社会教育課長 担当者もオンライン対応の継続は視野に入れており、直接指導とオンラインを併用して行けるよう考えている。

【議事】

徳永教育長 報告第1号「和気町教育委員会教育長職務代理者の指名について」事務局に説明

	を求めた。
万代教育次長	和気町教育委員会教育長職務代理者の指名に関する規則（平成30年教育委員会規則第6号）第2条の規定により定める者であるとの説明を行った。
徳永教育長	教育長職務代理者に齊木孝委員を指名した。 次に、議案第8号「平成31年度（令和元年度）教育行政報告書の承認について」事務局に説明を求めた。
万代教育次長	教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに公表しなければならないことから承認を求めるものであると、提案理由を述べた。
万代教育次長・國定学校教育課長・菅崎社会教育課長	平成31年度（令和元年度）教育行政報告書の内容について、各担当箇所の説明を行った。
徳永教育長	説明について意見・質問を求めた。
國友委員	義務教育校ということで小中学校の連携に力を入れているところも多いが、和気町はどのようなになっているのか。
國定学校教育課長	研修や公開授業等で定期的にお互いの学校を行き来し、情報交換や教育内容の相互理解は進んできていると感じられる。特に和気中学校では小中連携加配の教員が配置されているので、上手く活用しさらに連携を深めていきたい。
國友委員	制度的に義務教育学校を創っていくようなものがあるのか。
國定学校教育課長	今のところは制度的なものは無いが、今後研究の必要性を感じている。しかし必ずしも決まった制度が必要なわけではなく、双方がお互いの教育内容を把握・理解していることが重要であると感じている。例えば今年度は、昨年度小学校の教科書が採択されたので、その教科書を中学校に設置してもらい、それをふまえた授業ができるようにしている。
國友委員	英語教育は特に連携が必要だと思われる。
國定学校教育課長	英語教育については、今後、様々な学習歴の生徒が入学してくることになるので、入学当初（段階）での達成度を計った上で授業を実施してほしい旨を伝えている。また、授業充実拠点校事業を活用し、小学校での学習状況を把握した上で中学校の授業をしてもらうようにしている。研究会なども小中合同で行っており、これからも引き続き連携が取れるようにしていきたい。
徳永教育長	小中連携加配の教員を積極的に活用し、さらに連携を深めていってほしい旨を校長に伝えている。
有正委員	社会教育の施策において、現在事業内容は多岐に渡っており、社会教育課としての一貫性が無いように感じられる。体系の整理を行うべきである。 また、重要な施策から順に記載し、その他様式や記載方法も統一した方が良いのではないか。
徳永教育長	意見について、修正を行ったうえ公表するよう指示をし、体系の整理は社会教育課と共に再度検討していく。

徳永教育長	その他、意見質問を求めたが特になく、全会一致で承認された。 つづいて、承認第6号「令和2年度教育要覧の承認について」事務局に説明を求めた。
万代教育次長・國定学校教育課長・菅崎社会教育課長	要覧は和気町ホームページにおいて公表するため内容について承認を求めるものであると提案理由を述べ、内容について変更点を中心に各担当箇所の説明を行った。
徳永教育長	説明について意見・質問を求めた。
有正委員	新規項目のGIGAスクール構想・ICT関連について、現在の社会状況だと特に重要性が高いように感じられるが、これを一時的なものとするのではなく、使用の場が小中学校である事を踏まえ特性をきちんと生かして学習に取り入れる事が出来るように、今後も見据えて検討していただきたい。
國定学校教育課長	和気町では以前からICTの環境整備を進めており、中学校には昨年度からタブレットの導入や授業の支援ソフトを取り入れて少しずつ実践を進めているところである。引き続き、活用・運用の仕方を検討していく。
齊木委員	働き方改革について、教師業務アシスタントというのはどのような仕事をしているのか。また、部活動指導員の拡充について詳細を教えてください。
國定学校教育課長	教師業務アシスタントは、教職員がより教育に専念し、児童生徒と関わる事が出来るように事務業務等の軽減を目的としており、学校によって多少内容は違うが、教材等の準備や印刷・事務・校内の雑務・会計などを行っている。 また部活動指導員は、平成31年度当初時点では佐伯中学校に1名・和気中学校に1名の計2名配置していた。令和2年度は和気中学校に追加でさらにもう1名を配置している。単独で部活指導や試合の引率なども可能となっており、主に顧問の負担軽減を目的としている。近年の働き方改革において部活動が超過勤務の大きな原因となっているため、これの解消に大きな役割を担っている。
國友委員	新型コロナウイルス対策で様々なことが縮小やオンライン対応等になっているが、これを悲観するのみではなく今までのことを見直す良い機会とし、教育や行事がさらに効率よく行えるように新しい目で見直しを行ってほしい。そうすることにより働き方改革にも繋がっていくだろう。
安藤委員	昨年度の卒業式・今年度の入学式は縮小して行われていたが、とてもアットホームで良い雰囲気だったように感じた。
有正委員	子どもの目線で、何のために行っているのか、どのような目的で行っているのかを明確にし、見直しを行うべきである。
國友委員	新型コロナウイルスを境として、様々なことが変革している。教育現場にも新しい学習の様式を取り入れていかなければならない。今後を見据えて研究していただきたい。
有正委員	これまでより見やすくなっているが、フォントを揃えてほしい。また、社会

教育について構成を再度検討してほしい。

徳永教育長 その他、報告について意見・質問を求めたが、特になし。
 全会一致で承認された。
 以上で議事を終了し、その他について事務局に説明を求めた。

万代教育次長 「議会臨時会の報告について」教育関連の案件を説明した。
 「令和２年度市町村教育委員会連絡協議会総会について」説明をした。

万代教育次長・菅崎社会教育課長・国定学校教育課長
 「新型コロナウイルス感染症対策について」各担当箇所の説明を行い、夏季休業日の承認を求めた。

國友委員 授業日数が１３日回復できるとの事だが、夏季休暇というのは夏季の通学・学習が難しいため施行されているものであり、またエアコンが有るとはいえ今年度は３密を避けるため定期的な換気も必要となってくるので、授業の回復という目的ばかりを先行させるのではなく、児童生徒の体調管理に配慮した上で運営を行ってほしい。

徳永教育長 ご指摘いただいた件については学校に伝える。子ども達の健康を第一に考え行う予定である。その他に意見・質問を求めたが、特になし。
 全会一致で承認された。

菅崎社会教育課長 「日笠地区公民館の建て替えについて」報告した。

徳永教育長 その他の事で、意見を求めた。

有正委員・國友委員 教育委員会定例会の在り方について、あるテーマについて皆さんで協議する会もあって良いのでは、検討してほしいとの意見があった。

徳永教育長 教育課題を設けて皆さんで意見交換を行う定例会も検討したいと述べた。

万代教育次長 次回教育委員会の開催を６月２５日（木）午後３時から開会とした。

徳永教育長 閉会あいさつにて散会。

閉会時刻 午後０時１０分

議事録署名

委	員	安藤	知春
委	員	國友	道一
教	育	次	長
		万代	明